

ELNEC-J 研修

エンド・オブ・ライフをケアする看護師の教育カリキュラムに沿った研修を5月と6月の2日間で開催しました。3回目を迎える今年は、まだ経験年数の浅い若手看護師も沢山参加してくれました。講義だけでなく、ケーススタディやロールプレイで仮想の患者さんについて考える時間も持ちます。最初は、どうすればよいかわからないと悩む姿がありましたが、時間が経つにつれて「患者さんはどんな思いを抱えているのか」「私達看護師はこういったケアができるのではないかと真剣に話し合う姿に変化してきました。

まとめの会では各自がこの研修をどのように活かすか考え、仲間と共有しました。2日間共に学んだ仲間からエールを送ってもらい、明日への力になったと思います。

超高齢社会の現在では、エンド・オブ・ライフ・ケアの必要性は高まっています。一人ひとりの人生は違います。だからこそ私達は、一人ひとりの「その人らしさ」を考え続けながら日々の看護を行っていきたいと思います。

緩和ケア病棟課長 向井 美千代

ELNEC-J コアカリキュラム 看護師教育プログラム

- モジュール1 エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護
- モジュール2 痛みのマネジメント
- モジュール3 症状マネジメント
- モジュール4 エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的配慮
- モジュール5 エンド・オブ・ライフ・ケアにおける文化への配慮
- モジュール6 コミュニケーション
- モジュール7 喪失・悲嘆・死別
- モジュール8 臨死期のケア
- モジュール9 高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア
- モジュール10 質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアの達成

